

実行委員会ニュース vol.1

発行日 2014年4月10日
発行元 第2回学術交流集会現地実行委員会



ごあいさつ

このたび、「全日本民医連救急医療研究会・第2回学術交流集会」を、日本三景の一つ、宮城県の松島で開催させていただくこととなりました。

救急医療の現場では、一人の患者さんが急病で入院した際には、様々な職種が関わって、検査、治療、看護を提供するとともに、退院していく過程においても、リハビリの実施や退院に向けた環境作り、さらには、在宅医療への移行や施設入所への支援などにおいて、多様な職種の関わりは不可欠です。そのような意味において、「地域完結を目指した医療連携のあり方」は非常に重要であり、医療連携を他職種間で構築すること、すなわち、「みんなで支える救急医療」という考え方方は必然的な概念と思われます。

また、患者さんと接する医療従事者は、自分が業務する職場環境において、急病患者の発生に遭遇する可能性があるはずです。つまり、救急はどこにでも発生しうるものであり、そのような状況が発生した際に、どのように連携して適切な医療が提供される流れの中に患者さんを誘導するか、というシステムの構築やそのための準備も求められると思われます。このような点から、「みんなで支える救急医療」という考え方方は、特に重要なではないかと思われました。

実行委員会の議論をふまえ、今回のテーマとスローガンを上記のように決定するに至りました。これらのテーマ、スローガンを中心に据え、各医療機関においてどのような取り組みがなされているのか、また、テーマ、スローガンに関わらず、普段、各医療機関における救急医療への取り組みについて、情報交換および共有する場として、そして何よりも、民医連の仲間の交流の場として、「第2回学術交流集会」を開催させて頂いたいと思います。全国各地の皆さんのが活発な学術交流を期待しております。



さらに、東日本大震災の際に、全国の民医連の皆さんのが宮城に支援に来て下さって、震災後の地域の医療活動に多大な貢献をして頂いたことを、我々は今後忘れることがありません。今回の宮城での開催は、あの時の皆さんの支援に対する我々の感謝の気持ちを表す「おもてなし」をさせて頂く場とも考えております。

是非、宮城において下さるようお願いいたします。日本三景の一つ松島にて心よりお待ちしております。

全日本民医連救急医療研究会 第2回学術交流集会 実行委員長
公益財団法人 宮城厚生協会 坂総合病院 救急部
郷古 親夫

開催要項

会期 2014年11月14日(金)～15日(土)

会場 松島大観荘

テーマ 地域完結を目指した医療連携のあり方

スローガン みんなで支える救急医療

演題募集 2014年4月21日から

*多数の演題をお待ちしております。

ただいまホームページ作成中！